

平成 25年 5月 7日 (火)発行

道 建 協 と う ほ く

No.52

発行 一般社団法人 日本道路建設業協会
東北支部 広報委員会



富岡町は、帰宅困難地区で、昼の立ち入りは可能なものの、居住はできない地域です。桜は例年通り、開花して、桜のトンネルになっています。本来なら、満開の桜の下に多くの人が集まり、このように誰も居ない風景は撮れないのですが・・・

【福島県双葉郡富岡町(2013年4月株NIPPO国井氏)】

目次

支部長就任挨拶	-----	1
行事報告	-----	2
対外活動	-----	3
幹事会・委員会活動	-----	4
随想	-----	6
会員だより	-----	8

支部長就任挨拶



支部長 松谷 健一

4月1日より前任の早稲田様から引き継ぎ、支部長を拝命いたしました松谷でございます。

会員の皆様には、日ごろ道建協の支部活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

今後とも、道建協の基本方針であります、「道路整備の推進、道路技術の向上、道路建設業の健全な発展」に向かって本部と一体になり、会員皆様のお力をお借りして、協会活動に取り組んでいきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

ご承知のとおり、東日本大震災から2年を経過いたしまして、われわれ道建協会員を取り巻く状況は大きく様変わりをいたしました。

震災前は民主党への政権交代に伴い、道路予算大幅削減の政策に対し、協会として、未だ遅れている東北地方の道路整備の必要性を訴えて参りました。しかし、東日本大震災が発生し、地震発生直後、想像を絶する状況のなか、幹線道路の応急復旧、緊急物資・機材の応援など協会員の献身的な努力の結果、被災者の方々には我々建設業者に対する一定の評価が頂けたのではないかと考えています。

一方、現在は政権が自民党に移り、公共事業の復活、震災復興事業の本格化に伴い、技術者、労務、資材、機械等の極端な供給不足や価格高騰など近年経験したことの無い状況にあります。このため、工程遅延、入札不調など、これまで、東北地方整備局はじめ各発注機関に道路整備の推進を訴えてきた当協会としても誠に不本意な状況が起きております。

この環境は今後しばらく続くものと思われ、特に人材、資機材等の安定的確保について発注機関との連携を深め、道建協東北支部が東北地方のいち早い復興の礎となり、地域、住民のお力添えが出来ればと存じております。

また、笹子トンネルの事故をきっかけに道路構造物の老朽化に対する議論が活発となり、舗装構造に関してもこれまで以上にメンテナンスの必要性が叫ばれる環境になりました。今後、ライフサイクルコストの考えに基づいた補修方法や長寿命化など舗装技術の向上に関しても当協会の役割が重要になるとわれ、この分野での活動を一層進めたいと存じます。

このように我々、道路建設業の重要性、必要性は益々高くなると思われ、健全な発展の為には公正かつ自由な競争を通じ、適正な価格での受注に努め、高品質な製品を納入することが我々に課された使命であります。同時に地域経済、地域雇用の確保にも貢献すべく協会員一丸となって全力で取り組みたいと存じますので、何卒、関係各位、会員各社の皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

行事報告

1. アスファルト混合物事前審査について

当協会が審査機関として行ったH24年度の審査・認定状況は以下の通りです。

	認定年月	混合所数	認定混合物数
第62回	2012年7月1日	24	373
第63回	2012年10月1日	20	413
第64回	2013年1月10日	31	477
第65回	2013年4月1日	21	356
計		96	1619

上記の他、下記の追加認定を行ないました。

- ・骨材不足に伴う骨材変更（追加）への対応 17混合所 63混合物
- ・秋田県での事前審査認定証の取扱い変更への対応 6混合所 45混合物

2. 舗装施工管理技術者資格試験について

平成25年度舗装施工管理技術者資格試験の受験申込みが、2月22日締切られ、申込者数が下表の通り確定しました。試験日は6月23日（日）で、仙台会場は1級が東北福祉大学（ステーションキャンパス）、2級が昨年同様、東北電子専門学校の予定です。

()内は前年比

	1級		2級	
	H25	H24	H25	H24
仙台	736 (101%)	728	403 (121%)	334
全国	5,431 (89%)	6,122	2,421 (88%)	2,765

3. 舗装施工管理技術者 技術講習会について

平成25年度舗装施工管理技術者技術講習会の日程が決まりました。今年度も昨年同様、東北では盛岡と仙台の2会場で開催します。

- ・日時・場所 盛岡会場 9月26日（木） 岩手県産業会館
仙台会場 9月27日（金） 仙台国際センター、
- ・受講料 8,000円
- ・申込み期間 5月8日～6月10日

申込み方法、及び申込み書類の入手は、協会本部ホームページ「平成25年度舗装施工管理技術者 技術講習のお知らせ」を参照。

<http://www.dohkenkyo.or.jp/pavement/kousyu/index2013.htm>

対 外 活 動

(H25/2/1～)

1. 東北地方整備局関係

1) E E 東北 実行委員会

日 時：平成25年3月13日(水)

場 所：フォレスト仙台

出席者：早稲田支部長、石井技術委員長

議 題： E E 東北'12 決算報告

E E 東北'13 展示会の概要、予算、出展者募集について

* 同上 作業部会 2月26日 出席者 事務局長

4月23日 出席者 事務局長

2) 建設資材対策東北地方連絡会

日 時：平成25年4月24日(水)

場 所：宮城自治労会館

出席者：事務局長

議 題： 本省からの情報提供について (本省 建設市場整備課)

復興加速化会議の情報提供について (東北地方整備局)

建設資材の需要見通し等について (各発注機関)

課題・問題点と対応状況等について (各資材業者団体)

対応策等に関する意見交換 (各発注機関、各団体)

2. 東日本高速道路(株)東北支社関係

NEXCO東北支社舗装技術検討会

日 時：平成25年3月5日(火)

場 所：東日本高速道路(株)東北支社

出席者：検討会協力委員 浅田、稲辺、藤永技術委員

議 題： 舗装構造の損傷診断方法の精度向上・効率化

舗装に係る環境負荷軽減技術の適用 事例報告

舗装の耐久性向上方法

3. 後援行事等

1) 【第5回新春特別講演会】(東北 PPP 推進連絡協議会・主催)道建協支部・後援

日 時：平成25年2月21日

場 所：仙台ガーデンパレス

講 演：「復興元年から再生元年へ」 東北地方整備局長 徳山 日出男 氏

「しあわせの農村建設...『唯物論』と『観念論』」

東北農政局長 五十嵐 太乙 氏

「東北経済の発展に向けて」 東北経済産業局長 山田 尚義 氏

2) 【東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会総括報告会】

日 時：平成25年3月21日(木)

場 所：仙台市情報・産業プラザ(アエル)

出席者：石井技術委員長

幹事会・委員会活動

(H25/2/1~)

1. 幹事会

【第6回】

日 時：平成25年3月5日(火)

出席者：早稲田支部長、川内幹事長、幹事10名(松谷、齋藤、石井、上河、清水、近藤(代)、菅野(代)、宮村(代)、皆川(代)、大西)

議 事： 活動の概況(1/29~)

全国事務局長会議報告

平成24年度 決算見込み

平成25年度 予算について

委員長人事について

平成24年度 委員会活動概要、平成25年度について

平成25年度 本部表彰 推薦について

平成24年度 安全パトロール「優良工事表彰」について

4月期異動により、上河 忍幹事の後任として、原 義久氏を選任
早稲田 高茂幹事の後任として、松澤 洋氏を選任
川内 正幹事の後任として、杉崎 匡孝氏を選任しました。

2. 技術委員会

日 時：平成25年3月7日(木)

出席者：石井委員長、大西副委員長、委員8名(佐藤力、稲辺、佐藤透、藤永、浅田、永澤、大山、鈴木)

議 事： 「舗装に関する技術検討会」への意見取りまとめについて

「NEXCO 東北支社舗装技術検討会(第1回)」の内容について

舗装に関する技術検討会(整備局) 関連事項

【施工実績会員ヒアリング】

日 時：平成25年2月12日(火)~14日(木)

対 象：会員5社

出席者：検討会委員(稲辺、藤永、浅田)

整備局：榊舗装係長等3~4名

【第2回検討会事前打合せ】

日 時：平成25年2月27日(水)

場 所：東北地方整備局

出席者：検討会委員(稲辺、藤永、浅田)

整備局：高橋特定道路工事対策官、榊舗装係長

【WG】

日 時：平成25年3月14日(木)

出席者：委員5名(佐藤力、稲辺、藤永、浅田、大山)

議 事：「舗装に関する技術検討会」への取りまとめ方針について

【道建協意見中間報告】

日 時：平成25年3月22日（金）

場 所：東急ビル

出席者：検討会委員（稲辺、浅田）

整備局：高橋特定道路工事対策官、佐藤道路工事課長、榊舗装係長

3. 公共工事 委員会

【委員会幹事会】

日 時：平成25年2月4日（月）

出席者：委員8名（佐藤力、熊本、手塚、新田、鎌田、若狭、田澤、大山）

議 事：整備局と本部との意見交換会議題について

【委員会代表幹事会】

日 時：平成25年2月12日（火）

出席者：委員3名（若狭、田澤、大山）

議 事：整備局と本部との意見交換会議題について

4. 安全環境委員会

日 時：平成25年1月29日（火）

出席者：宮村委員長、上河副委員長、委員12名（須藤、伊藤勝、秋山、菊池、大谷、高橋、伊藤忠、佐々木、高木、永澤、斎藤、早坂）

議 事：安全パトロールまとめ・表彰推薦について

5. 委員会幹事会

日 時：平成25年3月14日（木）

出席者：（広報）三澤、伊藤

（技術）稲辺、藤永、浅田

（公共）若狭、佐藤、大山

（安全）永澤、秋山

（防災）新田、鎌田、田澤

議 事：平成24年度 活動状況について

平成25年度 委員会活動計画について

第65回定時総会のお知らせ

第65回定時総会及び懇談会を下記により開催いたします。

- ・日 時：平成25年6月4日（火）15時～（懇談会 18時～）
- ・場 所：ホテルメトロポリタン仙台

随 想

桜』



防災委員長 杉崎 匡孝
(東亜道路工業株式会社 東北支社)

慌ただしい年度末、東京の本社に向う新幹線からふと見た田園風景にこんもりとした薄桃色が目に留まる...「桜かぁ」、同時に目頭が熱くなる感覚を覚えた。

都心に近づくにつれ、その薄桃色は大きく、そして満開となる。不思議と心が弾む。何年ぶりだろうか、この感覚は？

長年現場に携わってきた私には、年度末のハードワークからようやく開放される四月。桜はそれに併せるかのように癒しを与えてくれる。そんな春を何十年も過ごしてきた。(皆さんも同様ではないでしょうか?) 震災直後の春にも「被災地にも桜が咲きました」との報道があり、それなりの感銘を受けた。けれども、その時とは違う感覚だった。

3月と4月の出来高が同程度という震災以降の異常な2年間の春には「桜にも気付くことができなかった」ことに今気づき、この薄桃色に感動したようだ。

復興もまだまだ続きます。がむしゃらに走ってきた2年間、このあたりで桜を眺めるのも良いプレスになるのではないのでしょうか?と

ここまで駄文を綴りましたが、本文を掲載していただいた「道建協とうほく」の発行はGW

明けとのこと、「桜はもう...」でしょう。けれども新緑爽やかな風そよぐ五月! コートや防寒衣を脱いで、新たな気持ちで頑張りましょう!



『名所旧跡に想いを馳せて』



広報委員会 副委員長 齋藤 敏彦
(株式会社ガイアート T・K 東北支店)

一昨年、中部支店に勤務しておりました。東北人の私にとって東京より西はなかなか訪れることの少ない地域なので、この機会の休日を利用して多くの文化遺産を訪ねてみたいと考えておりました。

赴任後早速、名古屋城を先駆けに熱田神宮、そして少し足を伸ばして伊勢神宮を参拝しました。それぞれがスケールの違いを見せる重厚な建造物でしたが、特に伊勢神宮の壮大さと次元の違う異様なまでの有様に驚きを隠せませんでした。まさに「神々の領域に足を踏み入れ、天照大御さまのパワーを存分に頂いた」感がありました。

また、古城巡りも数箇所行きました。特に国宝犬山城は印象に残っています。個人の所有物だったそうですが平成16年に財団法人管理になり、木曾川のほとりに悠然と立ち誇っていました。天守閣に登るとそこは織田信長亡き後、豊臣秀吉がこの天守閣から小牧城に陣取る徳川家康を相手に火花を散らし睨み合いを続けた所であり、当時の戦国時代にタイムスリップしたような感覚を覚えました。

続いて、名古屋から新幹線で約40分程度と近い事もあり京都へ2度程足を運びました。京都周辺には多くの世界遺産があり、出来るだけ多くの史跡を見ようと勇んで出かけたものです。特に印象に残っているの

は西本願寺で、門を潜ると御影堂と阿弥陀堂の荘厳な木造建築物に圧倒されてしまいました。建物の中に入り親鸞聖人像を前にしての「お勤めのお経」についつい聞き入ってしまい、その凜とした空気に包まれて、身の引き締まる思いを致しました。次に二条城も感慨深いものがあり、徳川15代將軍慶喜が大政奉還を発表した大広間は当時の様子を人形で再現しており、時代の変化がここから始まった事を改めて感じ取ることが出来ました。

近畿東海地方は歴史上の中心地で、名だたる戦国武将等が天下人を目指し視線を向けた地であります。全ての名所旧跡に、その時代を生き抜いた歴史人たちの生き様が刻まれているように感じます。機会があれば今度はゆっくりと「それぞれの歴史人の想い」に再び触れてみたいと思っています。



Photo by (c) Tomo Yun

会員だより

『私の休み』

株式会社竹中道路 東北支店
支店長 小松 徹

今年の冬は寒さが、本当に厳しい感じがしました。たぶん皆さんもそんな感じがしたのではないのでしょうか。寒いと、せっかくの休日も外に出ることもなく、ただ家の中でダラダラ過ごすことが多いのでは！？それでも最近やっと暖かくなってきたので、外での活動も少しずつ増えてきました。

私の休みの過ごし方は、庭の手入れと畑仕事に明け暮れます。今の住まいは大崎市(旧古川市内)で、自宅を建ててから約23年になります。当時は庭にも畑にも興味などなく、せいぜい庭に少しの花と夏にミニトマトをプランターに植える程度でした。しかし、風が吹くと家の中に砂ほこりが入ったり、玄関が土で汚れたりして、なんとかしなければと思い、少しずつ木を植えたり、芝を張ったりして増やしてきました。

当然のごとく、季節が夏に向かうと芝も伸びるし植木もどんどん成長します。個人的な性格もありますが、そんな伸びた芝や植木も気になってきて、なんとか手入れをしないと、芝刈り機を買ってきて芝刈りを始めました。すると不揃いの芝がきれいに長さがそろい、見た目にも本当にスッキリして気持ちのいい事！！それからは芝の成長がしている間、つまり土曜と日曜日は毎週のように芝刈りをします。もちろん、雑草を抜いたり、たまには肥料を散布し

たりて、けっこう手入れに時間をかけています。植木(垣根:ドウダンツツジが主)にも同様に手入れをします。花が終わってからの刈り込み、形を整えることも怠りません。時には時間が足りなくて手入れを次週に残すこともあります。

畑(野菜づくり)仕事も、今年で2年目になります。近所に貸農園がありまして2区画(1区画約10坪)を年間通して借りました。家賃は2区画で1万円! 高いか安いかは別にしまして、これがまたは楽しいこと。野菜は買えば安いのですが自分が作ると不揃いでもかわいいものです。今年も先週に畑を耕し、さっそくジャガイモ2種類と春大根、ネギを植えました。これからも、いろいろな野菜を植えていきますが、葉物が多くなると普段からのまめな手入れが必要になり、さすがの私の土日の休みでは時間が足りなくなるので、あまり手入れのかからない野菜を中心に植えていくようにしています。今回は畑の写真が間に合わなかったので、自宅の庭の写真だけ紹介させていただきます。

これからの私の休みは、庭の手入れと畑の手入れにて忙しく過ぎる事になるでしょう。日焼けと暑さの小さな戦いがシーズンオフまで続きます。



『職場の紹介』

北川ヒューテック株式会社 東北支店
梅森 健剛

当支店は、仙台市宮城野区扇町5丁目に位置し、国道4号B P 東部、梅田川・国道45号の南側に位置しています。

当地域は、昔から仙台平野（狭義で）の穀倉地帯とし稲作地が盛んに生産されていた地域で、水田は腰まで浸かって田植えをしたと言われているほど地盤としては弱い地域であり、国道4号B P 等は沈下が多くオーバーレイによってアスファルト舗装の厚さが1m程度になっている箇所もあるようです。当支店のある地域の標高は、10m以下の低地（沖積低地）であり大昔は海でありました。

2年前の東日本大震災においては、液状化によって砂が吹出すようなことは無かったようですが、道路の沈下・亀裂・段差やマンホールの隆起、建物亀裂等被害が多く発生しました。

こんな地域に北川ヒューテック（株）東北支店があります。支店は、昭和49年6月に営業所として開設され、まもなく40周年になろうとしています。「北川ヒューテック（株）」とは、「ヒューマニティー」と「テクノロジー」の合成語で、当社の経営理念「建設という創造的な事業を通して社会と経済の発展に貢献し、人間性豊かで快適な生活環境を創り出す。」の意味が込められた名称です。

当社としては、2年前の東日本大震災以降、東北地域の復興に欠かせない幹線道路（国道・県道・市町村道）の復旧に、全国の支店より社員の応援協力を得て奮闘しているところです。

今後とも、上島支店長を先頭に、道建協東北支部の指導の下、東北地方の復興に微力ながら尽くしていきたいと考えています。

最後に、3月11日の東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます

と共に、この震災が忘れることなく語り継がれ、今後の防災対策に活かされるようお願いいたします。



【北川ヒューテック(株) 東北支店】

「浪分^{なみわけ}神社」の紹介

過去の東北地方太平洋側で発生した、大地震・大津波を伝える神社として注目を集めている「浪分神社」が、支店の南約6km・江戸時代の大横綱「谷風」の墓の近くにあるので紹介します。

1611年の慶長三陸地震の時に発生した大津波が当地を襲った時この神社から津波が二つに分かれ、その後、水が引いた場所だと伝わり、ここから東部は津波が来ると地元町内では語り継がれています。



【浪分神社（海岸方向を向いて鎮座）】

編集後記

道建協とうほく 52 担当

宮本 憲治 (日本道路㈱ 東北支店)

扉を開けた瞬間、耳に馴染んだあの頃のメロディーが私を出迎えてくれます。
ここ国分町凱旋門ビル6階の「ダイヤモンドヘッド仙台」は、1960年から1970年代を中心にベンチャーズ、GS、オールディーズなど幅広いジャンルの生演奏が楽しめるお店として居場所を求める大人の人気スポットです。

手前のカウンター席には、常連のY川さんの背中が。お酒は呑まないのにほぼ毎日通ってきている貴重な御仁です。ドラム、ベース、ギターの音が走ると、私の指先が勝手にエアギターモードになってしまうのはどういう訳でしょうか。

勿論カラオケも楽しめますが、極めつけは、バンドと客のセッションです。
青春時代にタイムスリップしたい貴方、是非、夜のクラブ活動に参加しませんか。
いつから？ 今でしょう。

